^{令和 4 年} これならど~お?

○この夏。冠旧引见见以の宏昭己位值[○





『ギソク陸上部』 【日本文学】

山下 白/原案 舟崎 泉美/著 学研プラス(¥1,200) 成瀬颯斗(はやと)、中学生、陸上部。子どもの頃から走ることだけは誰にも負けなかった。でも突然、ユーイング肉腫という病気を発症。長い抗がん剤治療の末、右足を切断した。僕の右足は、義足だ…。



『ボーダレス・ケアラー

夏休み限定で認知症の祖母の面倒を見ることになった 海斗。からっぽのリードを握って散歩する祖母に頼んで握 らせてもらうと、半透明の柴犬が見え、女子中学生と出会 う。彼らの心残りをケアするために、海斗は東奔西走する。



『#(八ッシュタグ)マイネーム』 【日本文学】

黒川 裕子/作 さ・え・ら書房 (¥1,400)

親の離婚で苗字が変わった明音。学校で始まった「さん付け運動」に賛同できず、同志たちと名乗りたい名前を付け始める。自分のことなのに何一つ決定権がないもどかしさを抱えて、自分が自分であるための確実な何かを求め、反旗を翻す。



『本当の人生 (海外文学セレクション)』 【外国文学】

アドリーヌ・デュドネ/著 藤田 真利子/訳 東京創元社 (¥1,600)

暴力的な父、従うだけの母。それでも無邪気な弟と楽し く暮らしていた。ある日、弟は人身事故を目撃してしまい、 「禁じられた部屋」に閉じこもるように。弟との平和な日々 を取り戻したい姉は、ある行動に出た。

壮絶でありながら、どこかほっとできる不思議な物語。



『少女たちの戦争』 【ノンフィクション】

中央公論新社/編 中央公論新社 (¥1,300)

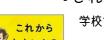
毎年、夏に話題に上り、いつのまにか日常に溶けていく 「戦争の話」。後に文壇にて花開く、稀有の才能を秘めた 少女達は、戦時中の灰色の空間で何を感じ、どんなふう に息をしていたのか。遠い昔の戦争話が、あの日の少女 たちのおかげで少し身近に感じられるかもしれない。



『センス・オブ・何だあ? *一*感じて育っ一』 【エッセイ】

三宮 麻由子/著 大野 八生/画 福音館書店 (¥1,000)

4 歳で視力を失った作者。見えていた時の記憶を忘れないように、感覚を磨きながら成長する姿を生き生きと描いている。彼女が大事にするのは「何だあ?」の気持ち。「知ることは感じることの半分も重要ではない」を理解できる一冊。



君たちへ

『これから大人になる君たちへ

学校では教えてくれない未来を生き抜くヒント』 【社会】 池上 彰/監修 KADOKAWA (¥1,500)

「世の中を渡っていくために最低限知っておくべきこと」を分かりやすく解説。お金のことや働く理由など未来を生き抜くヒントが満載。大人になるってどういうこと?と思っている人にぜひ読んでほしい一冊。



『海をわたった母子手帳

かけがえのない命をまもるパスポート』 【医学】

中村 安秀/著 旬報社 (¥1,600)

世界で最初の母子手帳が、日本で作られたことを知っていますか。日本生まれの母子手帳はどのように世界に広まっていったのでしょうか。日本の母子手帳のあゆみや世界との違いがわかる一冊。



を食べものが 足りない! 連続機器がかなた 地域を選がかなた。 地域を選がないまた。 井出 留美/著 手塚 雅恵/絵 旬報社 (¥1,400) 世界の 10 人に I 人が飢餓に苦しみ、栄養不良で亡くなる多くの子どもたち…。紛争、災害、貧困、経済格差が原因といわれる食糧危機問題は、新型コロナによりますます深刻化している。その実態を知り、"環境に正しく"私たちができることは何かを考えよう。

『図解でわかる 14 歳からの自然災害と防災』 【防災

社会応援ネットワーク/著 諏訪 清二/監修 太田出版 (¥1,500)



地震、津波、豪雨、大雪など様々な自然災害に見舞われる災害大国日本。いつ発生するか分からない災害にどう対応する? 今の備えは万全? 自然災害を想定し、命を守るための判断力を身につけよう。















